

メイク開始時期の若年齢化のきざし

「女性の化粧行動・意識に関する実態調査～スキンケア篇・メイク篇 2007～」より

ポーラ文化研究所では女性の初めての化粧に関する調査分析を行いました。

★若い年代ほど早い時期からスキンケア・メイクを経験している

スキンケアアイテムを中学生までに使用した人は
20代以下では約6～7割、30代以上では半数以上。
メイクアイテムを高校生までに、ふだんのメイクとして使用した人は
20代以下では約5～6割、30代以上では3割以下。

★若い年代ほど、中学生までに多くの種類の スキンケアアイテムを使用

『洗顔料』は10～50代の広い年代において、最も多くの人が中学生までに初使用したアイテムであり、若い年代ほど中学生までの初使用者が多い。

『化粧水』『乳液』『クリーム』『パック』『美容液』『マッサージ』

『クリーム』は20代後半ごろを境に若い年代ほど中学生までの初使用者が多い。

★20代以下の若い年代では、高校生までにアイメイクや リップグロスを中心としたメイクアイテムを使用する人が多い

20代と30代を境に、若い年代ほど早い時期から
さまざまなメイクアイテムを使用してメイクをはじめている。

【実施概要】

調査名：女性の化粧行動・意識に関する実態調査～スキンケア篇 2007～ ※本報告では「スキンケア調査」と表記

調査時期：2007年4月 調査方法：インターネット調査

調査対象：首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）に居住する 15～64歳の女性 1000人 ※中学生を除く
(20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳、50～54歳、55～64歳：各100人)

調査名：女性の化粧行動・意識に関する実態調査～メイク篇 2007～ ※本報告では「メイク調査」と表記

調査時期：2007年8月 調査方法：インターネット調査

調査対象：首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）に居住する 15～64歳の女性 1500人 ※中学生を除く
(20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳、50～54歳、55～64歳：各150人)

ポーラ文化研究所の調査について

ポーラ文化研究所は1976年の設立以来、美しさに関わる研究、なかでも「化粧文化」について人文・社会学など様々な角度から探究しています。現代女性の生活や化粧に関する意識・行動についての調査研究にも取り組み、調査成果は研究所内のポーラ化粧文化情報センターやホームページなどを通じて公開しています。

<http://www.po-holdings.co.jp/csr/culture/bunken/>

【リリースに関するお問い合わせ】 ポーラ広報部 TEL:03-3494-7123 担当：山田・松本
【調査内容に関するお問い合わせ】 (株)ポーラ・オルビスホールディングス ポーラ文化研究所
担当：鈴木・川上・立川 TEL:03-5795-0941

スキンケア_1) スキンケアアイテム初使用時期

スキンケアアイテムの初使用時期をみると、年代による差が非常に大きく、若い年代ほど早い時期にスキンケアアイテムを初使用しており、20代以下の6割以上が中学生以下、10代の4割が小学生までに使用している。

■スキンケアアイテムを初使用時期（基数：スキンケア調査 対象者全員 1000人）

	(N)	初使用時期							その他		
		小学生以下	中学生	高校生	大学生	社会人(20代前半以下)	社会人(20代後半以上)	わからない	今までスキンケアをしたことがない	中学生以下	スキンケア経験者
全体	(1000)	14.7	24.5	14.4	10.9	21.9	5.9	2.9	4.8	39.2	95.2
現在の年代別	15~19歳	40.0	29.0	16.0	10.0	11.0	0.0	0.0	0.0	69.0	89.0
	20~24歳	35.0	39.0	8.0	9.0	7.0	0.0	0.0	74.0	93.0	
	25~29歳	20.0	42.0	19.0	5.0	7.0	3.0	2.0	62.0	98.0	
	30~34歳	16.0	36.0	16.0	12.0	14.0	4.0	2.0	52.0	98.0	
	35~39歳	14.0	31.0	18.0	11.0	19.0	4.0	3.0	45.0	100.0	
	40~44歳	6.0	32.0	15.0	11.0	25.0	8.0	2.0	38.0	99.0	
	45~49歳	9.0	15.0	12.0	14.0	37.0	6.0	5.0	24.0	98.0	
	50~54歳	3.0	13.0	18.0	19.0	31.0	8.0	4.0	16.0	96.0	
	55~59歳	3.0	6.0	12.0	17.0	38.0	13.0	2.0	9.0	91.0	
60~64歳	1.0	10.0	10.0	47.0	13.0	7.0	10.0	3.0	90.0		

※表の網掛け：全体平均より10%以上高いスコアに薄黄色（■）、10%以上低いスコアに灰色（■）で網かけ

メイク_1) メイクアイテム初使用時期

ふだんの生活におけるメイクアイテム初使用時期をみると、これも年代による差が大きく、おおむね年代が若いほど、早い時期に使用しはじめています。高校生までにメイクアイテムを初使用した割合は、20代以下では過半数と特に多い。

一方、30代以上では約3割以下にとどまり、ふだんメイクを開始する年代の差がうかがえる。

■ふだんの生活におけるメイクアイテム初使用時期（基数：メイク調査 対象者全員 1500人）

	(N)	初使用時期							その他	
		小学生以下	中学生	高校生	大学生	社会人(20代前半以下)	社会人(20代後半以上)	わからない	ふだんの生活でメイクをしない	高校生以下
全体	(1500)	1.9	7.3	19.6	24.1	27.5	19.9	17.4	28.8	82.8
現在の年代別	15~19歳	8.7	20.0	23.3	6.0	40.7	0.0	0.0	52.0	59.4
	20~24歳	5.3	20.7	36.0	20.0	4.7	12.7	0.0	62.0	87.4
	25~29歳	2.0	12.0	38.0	19.3	14.7	2.0	12.0	52.0	88.0
	30~34歳	0.7	6.0	25.3	24.0	26.7	3.7	15.3	32.0	84.7
	35~39歳	1.3	4.7	17.3	30.0	30.7	0.0	15.3	23.3	84.7
	40~44歳	0.4	4.7	20.0	25.3	33.3	2.7	14.0	24.7	86.0
	45~49歳	0.0	17.3	30.0	37.3	0.0	12.7	0.0	19.3	87.3
	50~54歳	0.0	8.7	36.7	32.7	2.7	15.3	0.0	11.4	84.8
	55~59歳	0.3	27.3	46.7	4.7	0.0	17.3	0.0	4.0	82.7
60~64歳	0.0	6.7	22.0	47.3	4.0	18.7	0.0	6.7	81.3	

※表の網掛け：全体平均より10%以上高いスコアに薄黄色（■）、10%以上低いスコアに灰色（■）で網かけ

※参考 女子中学生向けのローティーン誌「ピチレモン」（学研）では、1986年の創刊時からスキンケアに関する記事は取り上げられていたものの（86年5月号P112~115）、メイクアップに関する記事は1995年ごろから多く取り上げられるようになった（95年4月号P8~9,95年11月号P12~18など）。1995年当時の中学生は、現在20代後半ごろになっており、早い時期（中学生ごろ）にメイク情報をキャッチしやすい社会背景があったとうかがえる。

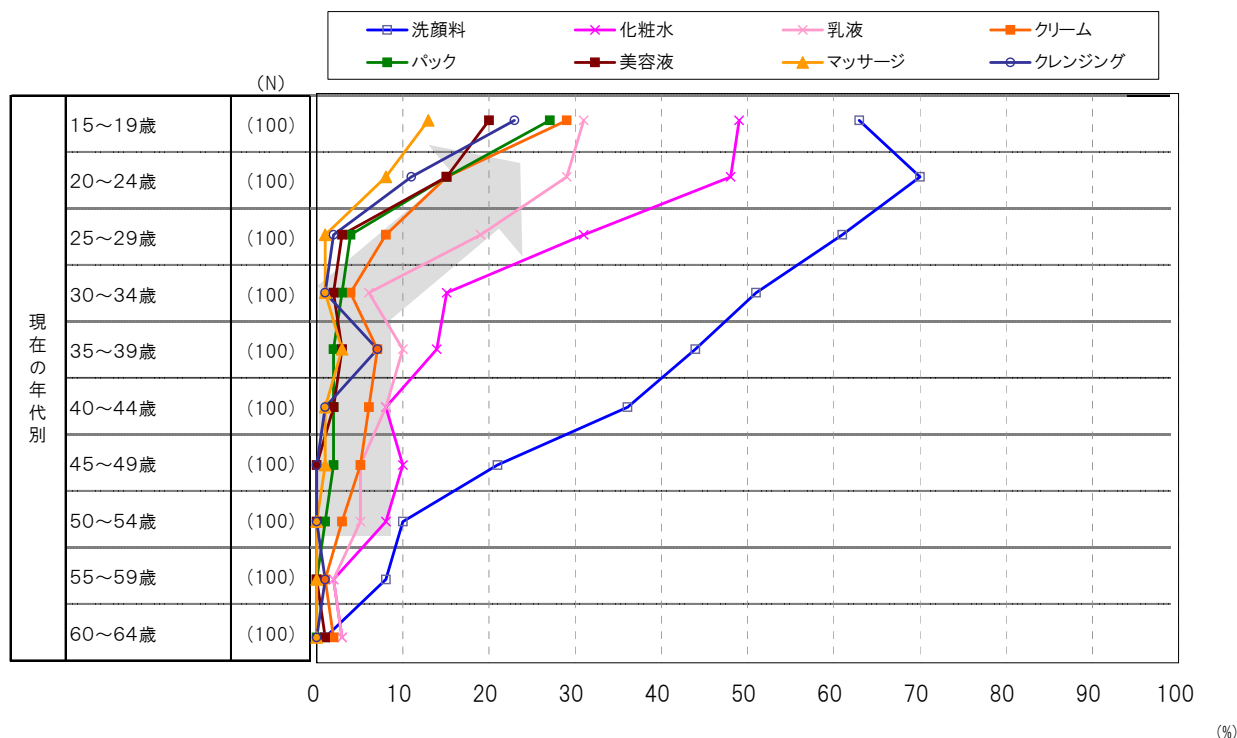
中学生までに使用するスキンケアアイテム

2-スキンケア) 中学生までに初使用したスキンケアアイテム

年代別に、中学生までに初使用したスキンケアアイテムをみると、60代を除く全年代において「洗顔料」が最も高率で中学生までに初使用されている。次いで「化粧水」「乳液」の順に中学生までに初使用した人が多いといえる。

各アイテムともに、若い年代ほど、中学生までの初使用者が多い。「洗顔料」以外のアイテムでは20代後半～30代前半を境に、若い年代ほど中学生までの初使用者が特に多くなり、世代によるスキンケア開始時期の差がうかがえる。

■中学生までに初使用したスキンケアアイテム (基数：スキンケア調査 対象者全員 1000人)



■中学生までに初使用したスキンケアアイテム 数表 (基数：スキンケア調査 対象者全員 1000人)

	(N)	洗顔料	化粧水	乳液	クリーム	バック	美容液	マッサージ	クレンジング (メイク落とし用)	平均反応個数 (使用アイテム種数)
15~19歳	(100)	63.0	49.0	31.0	29.0	27.0	20.0	13.0	23.0	2.55
20~24歳	(100)	70.0	48.0	29.0	15.0	15.0	8.0	11.0	2.11	
25~29歳	(100)	61.0	31.0	19.0	8.0	4.0	3.0	1.0	2.0	1.29
30~34歳	(100)	51.0	15.0	6.0	4.0	3.0	2.0	1.0	1.0	0.83
35~39歳	(100)	44.0	14.0	10.0	7.0	2.0	3.0	3.0	7.0	0.90
40~44歳	(100)	36.0	8.0	8.0	6.0	2.0	2.0	1.0	1.0	0.64
45~49歳	(100)	21.0	10.0	5.0	5.0	2.0	0.0	1.0	0.0	0.44
50~54歳	(100)	10.0	8.0	5.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.27
55~59歳	(100)	8.0	2.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.14
60~64歳	(100)	1.0	3.0	3.0	2.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.10

※表の網掛け：40%以上高いスコアに濃い青色(■)、30%以上高いスコアに青色(■)、20%以上高いスコアに水色(■)で網掛け

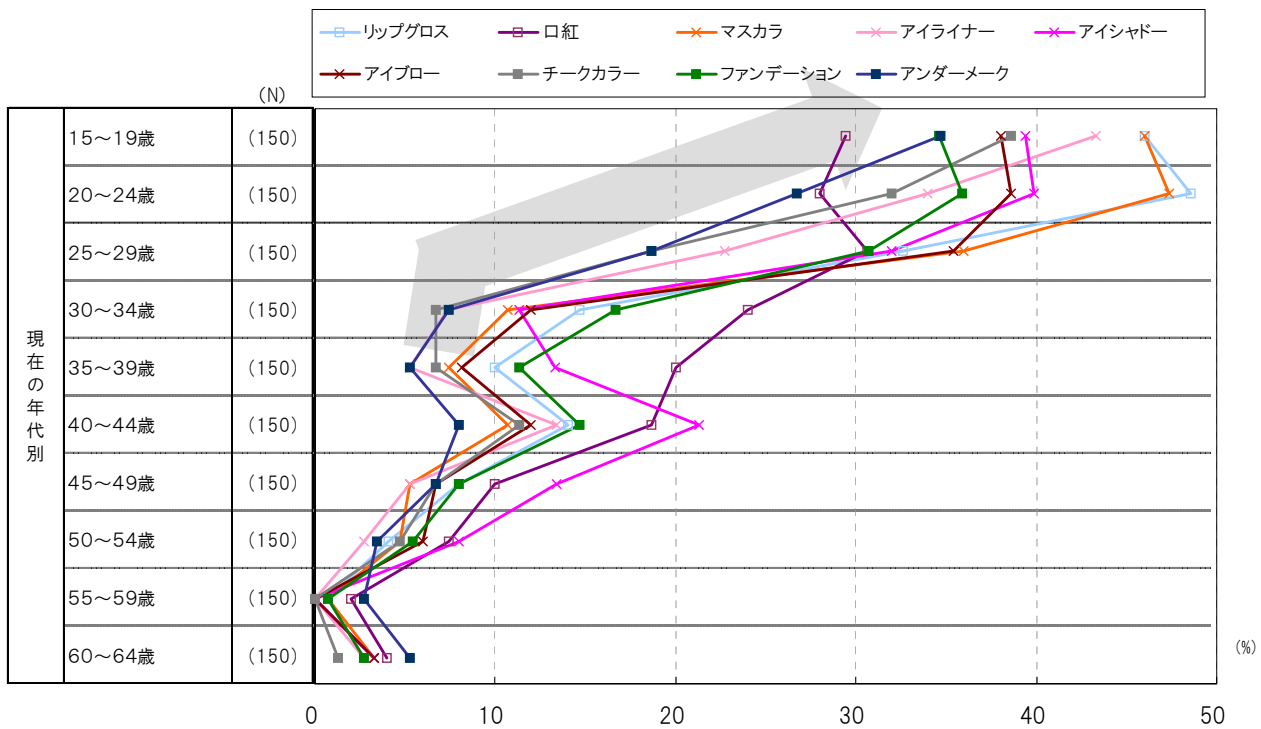
2-メイク) 高校生までに初使用したメイクアイテム

年代別に、高校生までに初使用したメイクアイテムをみると、20代前半以下の4割以上が「リップグロス」「マスカラ」を高校生までに使用している。

口紅を除く各メイクアイテムにおいて、20代以下では他の年代より、高校生までに初使用した人が特に多くなっている。

「口紅」は30代でも2割以上が高校生までに使いはじめており、ある程度昔から、高校生など早い時期に使いはじめていたアイテムとみられる。しかし、20代以下の若い年代では他アイテムがより多く使われている状況（「マスカラ」30代約1割→10代4.5割など）とくらべると、「口紅」（30代約2割→10代約3割）は、現在ではそれほど早い時期から使うアイテムではなくなっている。若年層のメイクアイテムへの関心が口紅からアイメイクやリップグロス中心に変わっていると推察。

■高校生までにふだんの生活で初使用したメイクアイテム (基数：メイク調査 対象者全員 1500人)



■高校生までにふだんの生活で初使用したメイクアイテム 数表 (基数：メイク調査 対象者全員 1500人)

現在の年代別	(N)	リップグロス	口紅	リップライナー	マスカラ	アイライナー	アイシャドー	アイブロー	チークカラー	ファンデーション	アンダーメイク (お粉)	フェイスパウダー	コントロールカラー	コンシラー	平均反応個数 (使用アイテム種数)
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15~19歳	(150)	46.0	29.4	23.3	46.0	43.3	39.4	38.0	38.6	34.6	34.7	28.6	17.9	25.3	4.45
20~24歳	(150)	48.6	28.0	18.7	47.4	34.0	39.9	38.6	32.0	35.9	26.7	29.3	18.7	24.0	4.22
25~29歳	(150)	32.6	30.6	16.1	36.0	22.7	32.0	35.4	18.7	30.7	18.7	16.6	10.0	8.7	3.09
30~34歳	(150)	14.7	24.0	9.4	10.7	7.3	11.3	12.0	6.7	16.7	7.4	6.0	2.7	3.3	1.32
35~39歳	(150)	10.0	20.0	4.7	7.4	5.3	13.3	8.1	6.7	11.3	5.3	4.7	1.3	1.3	0.99
40~44歳	(150)	14.0	18.7	8.0	10.7	13.4	21.3	12.0	11.3	14.7	8.0	6.7	2.7	2.0	1.44
45~49歳	(150)	8.0	10.0	3.3	5.3	5.3	13.4	6.7	6.7	8.0	6.7	4.7	2.0	2.0	0.82
50~54歳	(150)	4.1	7.4	2.7	4.7	2.7	8.0	6.0	4.7	5.4	3.4	3.4	2.7	0.7	0.56
55~59歳	(150)	0.7	2.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.7	0.0	0.7	0.0	0.08
60~64歳	(150)	2.7	4.0	2.7	3.3	2.7	3.3	3.3	1.3	2.7	5.3	4.0	1.3	0.7	0.37

※表の網掛け：40%以上高いスコアに濃い青色(■)、30%以上高いスコアに青色(■)、20%以上高いスコアに水色(■)で網かけ

※スキンケアアイテムには「はじめて使った時期」、メイクアイテムには「ふだんのメイクで使いはじめて時期」として初使用時期を把握。

※スキンケア・メイク調査のアイテム初使用時期は学校・社会人などを区分として調査した。

「文部科学省統計要覧 平成19年版」(文部科学省)によると、中学校就学率は1970年(50歳の本調査対象者が当時14歳ごろ)：99.9%、2000年(20歳の本調査対象者が当時14歳ごろ)：100%、女性の高校進学率は1972年(50歳の本調査対象者が当時16歳ごろ)：88.2%、2006年(20歳の本調査対象者が当時16歳ごろを想定)：96.8%。年代により就学・進学状況は異なるとみられ、本報告では、特に高校生以上の就学・進学状況に年代差があることを想定しつつも、本調査における年代によるスキンケア・メイクアイテム初使用時期の差は大きな傾向があるものととらえ、論じている。